

(西暦) 2025 年 8 月 14 日

当院にて鎖肛に対して後方矢状切開直腸肛門形成術もしくは腹腔鏡補助下直腸肛門形成術を受けた患者さんの診療記録を用いた臨床研究に対するご協力をお願い

研究責任者	所属	小児外科	職名	部長
	氏名	畠山	理	
	連絡先電話番号			
実務責任者	所属	小児外科	職名	部長
	氏名	田村	亮	
	連絡先電話番号	078-945-7300		

このたび当院では、上記の患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。**本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、小児外科部長 田村 亮までご連絡をお願いします。**

1 対象となる方

西暦 2019 年 1 月 1 日より 2024 年 12 月 31 日までの間に、兵庫県立こども病院小児外科にて、鎖肛に対して後方矢状切開直腸肛門形成術もしくは腹腔鏡補助下直腸肛門形成術を受けられた患者さん

2 研究課題名

当院の鎖肛における周術期管理および関連する合併症

3 研究実施機関

兵庫県立こども病院 小児外科

4 本研究の意義、目的、方法

鎖肛は 5000 出生に 1 人と言われる比較的稀な先天性疾患であり、その治療には外科的な治療が必要となることが多い疾患です。その術前準備や術後管理（周術期管理といいます）は本邦の施設によって非常に様々であり、いずれの方法が患者さんにとってベストであるかは定まっていないのが現状です。このことを解決するため、当施設において過去 5 年間に鎖肛に対して上記手術を受けられた患者さんの記録を検討し、当院における周術期管理の方法と関連する合併症に

ついて検討を行います。

5 協力をお願いする内容

診療録の閲覧、画像データの閲覧の協力をお願いいたします。

6 本研究の実施期間

西暦 2025 年 8 月～2026 年 3 月末日（予定）

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

兵庫県立こども病院 小児外科 田村 亮

電話 078-945-7300

FAX 078-302-1023

E mail: rutamura_kch@hp.pref.hyogo.jp

以上